



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 キッツ

上場取引所 東

コード番号 6498

URL <http://www.kitz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀田 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 川口 忠昭

TEL 043-299-0114

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	86,040	4.0	4,115	△19.8	4,136	△17.1	2,606	△13.1
25年3月期第3四半期	82,744	△0.0	5,131	40.9	4,990	48.0	2,999	74.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,057百万円 (55.3%) 25年3月期第3四半期 3,255百万円 (374.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	23.86	—
25年3月期第3四半期	27.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	105,166	64,171	60.0
25年3月期	99,972	60,219	59.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 63,137百万円 25年3月期 59,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	5.00	9.50
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	5.1	5,400	△17.7	5,300	△18.7	3,200	△20.8	29.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	120,396,511 株	25年3月期	120,396,511 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	11,176,988 株	25年3月期	11,175,323 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	109,220,340 株	25年3月期3Q	109,222,440 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、添付資料P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大規模な金融緩和政策や財政政策を背景に円安・株高で推移し、輸出関連企業を中心に景況感の改善がみられ、個人消費や公共投資の増加により景気が緩やかに回復することとなりました。海外経済におきましては、米国経済は緩やかな回復を継続しているものの、欧州経済は緊縮財政により低成長の継続が見込まれるなど、依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間は、バルブ事業において海外市場向けが増収となり、伸銅品事業においても大幅に増収となった結果、売上高は前年同期比4.0%増の860億40百万円となりました。損益面では、営業利益は、バルブ事業において国内の需要が低迷する中、円安に伴い海外生産品の輸入価格が上昇したことに加え、価格競争の激化などに伴い販売価格が下落した結果、前年同期比19.8%減の41億15百万円、経常利益は、為替差益の計上はありましたが、前年同期比17.1%減の41億36百万円となりました。四半期純利益につきましては、前年同期比13.1%減の26億6百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内市場において半導体製造装置向け需要は回復したものの、建築設備向け及びプラント向けなどにおける実需の低迷により売上高が減少しましたが、海外市場において、アジア及びヨーロッパ向けを中心に増加したことにより、前年同期比1.9%増の638億95百万円となりました。営業利益は、円安に伴う海外生産品の輸入価格上昇の影響が大きく、また、価格競争の激化などに伴い販売価格が下落した結果、前年同期比17.8%減の54億81百万円となりました。

② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、前年同期と比較して銅相場が安定して推移し、需要の増加に伴う販売量の増加により、前年同期比18.8%増の155億96百万円となりました。営業利益は、利幅の確保に努めた結果、前年同期比70.7%増の4億25百万円となりました。

③ その他

その他の外部売上高は、ホテル事業及びフィットネス事業において減収となったことに加え、諏訪ガラスの里の事業を平成24年6月1日付で売却したことともない売上高が減少した結果、前年同期比4.8%減の65億48百万円となりました。営業利益は、ホテル事業及びフィットネス事業の減収により、コスト削減に努めたものの、前年同期比11.8%減の3億23百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、売上債権の増加や棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ51億94百万円増加し1,051億66百万円となり、負債につきましては、法人税等の納付による未払法人税等の減少などはありませんでしたが、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ12億42百万円増加し409億94百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払はありましたが、当第3四半期の純利益26億6百万円に加え、為替換算調整勘定のマイナス幅の減少などにより、前連結会計年度末に比べ39億52百万円増加し641億71百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6億37百万円増の66億79百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は42億11百万円、減価償却費は25億17百万円となりましたが、法人税等の支払29億5百万円、賞与引当金の減少6億99百万円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは14億2百万円の資金の増加（前年同期は40億52百万円の増加）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に24億89百万円の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは29億15百万円の資金の減少（前年同期は29億55百万円の減少）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の29億60百万円の返済や、配当金の支払10億92百万円などがありましたが、一方で短期借入金31億26百万円、長期借入金28億90百万円などの資金調達を行った結果、財務活動によるキャッシュ・フローは18億38百万円の資金の増加（前年同期は17億26百万円の減少）となりました。

（注）当社では短期の運転資金需要の発生に備え、当社取引銀行との間で総額40億円のコミットメントライン契約を締結しております。なお、当第3四半期連結会計期間末における当該借入金の残高は17億円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成25年10月31日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,662	7,931
受取手形及び売掛金	22,857	20,563
電子記録債権	952	4,271
商品及び製品	7,095	7,910
仕掛品	3,744	4,025
原材料及び貯蔵品	6,277	6,909
その他	2,397	2,669
貸倒引当金	△31	△33
流動資産合計	49,956	54,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,375	12,371
土地	10,981	10,774
その他（純額）	12,454	13,117
有形固定資産合計	35,811	36,263
無形固定資産		
のれん	1,385	1,233
その他	1,884	1,984
無形固定資産合計	3,269	3,218
投資その他の資産	10,935	11,437
固定資産合計	50,016	50,919
資産合計	99,972	105,166
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,259	5,617
1年内償還予定の社債	1,728	1,638
短期借入金	2,403	5,609
1年内返済予定の長期借入金	3,576	3,004
未払法人税等	1,718	527
賞与引当金	1,624	951
役員賞与引当金	163	61
その他	4,675	4,272
流動負債合計	21,149	21,682
固定負債		
社債	8,282	8,308
長期借入金	6,330	6,854
退職給付引当金	514	541
役員退職慰労引当金	301	271
資産除去債務	425	429
その他	2,750	2,907
固定負債合計	18,603	19,312
負債合計	39,752	40,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	9,430	9,430
利益剰余金	33,675	35,189
自己株式	△3,918	△3,918
株主資本合計	60,394	61,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,697	2,119
為替換算調整勘定	△2,849	△890
その他の包括利益累計額合計	△1,151	1,229
少数株主持分	977	1,034
純資産合計	60,219	64,171
負債純資産合計	99,972	105,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	82,744	86,040
売上原価	63,194	66,803
売上総利益	19,549	19,236
販売費及び一般管理費	14,418	15,121
営業利益	5,131	4,115
営業外収益		
受取利息	6	12
受取配当金	145	147
為替差益	20	181
その他	208	194
営業外収益合計	382	536
営業外費用		
支払利息	213	197
売上割引	226	227
その他	82	90
営業外費用合計	522	515
経常利益	4,990	4,136
特別利益		
有形固定資産売却益	6	6
投資有価証券売却益	5	145
投資不動産売却益	4	—
その他	1	0
特別利益合計	17	151
特別損失		
有形固定資産除売却損	42	49
減損損失	105	25
投資有価証券評価損	56	1
その他	13	0
特別損失合計	217	76
税金等調整前四半期純利益	4,790	4,211
法人税等	1,757	1,575
少数株主損益調整前四半期純利益	3,032	2,636
少数株主利益	32	30
四半期純利益	2,999	2,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,032	2,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	421
為替換算調整勘定	117	1,998
その他の包括利益合計	222	2,420
四半期包括利益	3,255	5,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,214	4,987
少数株主に係る四半期包括利益	41	69

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,790	4,211
減価償却費	2,153	2,517
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△495	△699
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	102	30
受取利息及び受取配当金	△152	△160
支払利息	213	197
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,499	△358
たな卸資産の増減額 (△は増加)	447	△789
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△150	△192
仕入債務の増減額 (△は減少)	△459	△117
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△88	△117
その他	249	△172
小計	5,110	4,347
利息及び配当金の受取額	152	161
利息の支払額	△216	△200
法人税等の支払額	△994	△2,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,052	1,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,715	△2,489
有形固定資産の売却による収入	509	314
無形固定資産の取得による支出	△690	△557
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
定期預金の純増減額 (△は増加)	△250	△556
その他	204	385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,955	△2,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△292	3,126
長期借入れによる収入	2,580	2,890
長期借入金の返済による支出	△3,209	△2,960
社債の発行による収入	984	794
社債の償還による支出	△814	△864
配当金の支払額	△928	△1,092
その他	△46	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,726	1,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	311
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△662	637
現金及び現金同等物の期首残高	5,635	6,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,973	6,679

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	62,728	13,134	6,881	—	82,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	1,673	31	△ 1,822	—
計	62,847	14,807	6,912	△ 1,822	82,744
セグメント利益	6,666	249	366	△ 2,151	5,131

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△2,151百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,153百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はない。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	63,895	15,596	6,548	—	86,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	153	2,303	26	△ 2,482	—
計	64,048	17,900	6,574	△ 2,482	86,040
セグメント利益	5,481	425	323	△ 2,114	4,115

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△2,114百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,114百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はない。